

## 学校関係者評価報告書 平成30年度

項目	評価項目	評価結果・課題	課題・改善方策
(1) 教育理念・目標	・ 創学の精神「自立」と「清く・正しく・美しく」の教育理念は実行されているか	明確な創学の精神と教育理念を徹底した。「自立」の意義を定め、学生に周知することで「清く正しく美しく」の意識向上と実行に努めた	改めて創学の精神と教育理念、学校の目指す「自立」を考え、時代や時流に合わせた変容を取り入れながら、より「清く正しく美しく」の意識の徹底を図る
	・ 職業とキャリアを重視した教育がなされているか	「職業とキャリアを重視した教育」に努めて指導した。だが今年度の就職率等、昨年度からの進捗があまり見られなかった。	「職業とキャリアを重視した教育」のため、全学年に於いて新規の取り組みを導入する。学生の自身のキャリア形成の意識を高め、自分の適性の発掘と適視を行うことによって、就職率の向上につなげていく
	・ 専修学校が社会に於ける役割を認識しニーズに応える学校づくりに努めているか	専修学校の役割を認識したうえで、地域社会からの依頼やイベントなどに積極的に取り組んだ。またそのうえでニーズを解析し、より良い学校づくりに活用した	地域社会や地域の個人からの依頼を受け、吟味の上適切なスケジュール調整を図り、依頼に応じることで、よりニーズに応えることのできる学校づくりを画す
	・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	今現在の HP・SNS・紙媒体での周知を維持・向上させた。目指す育成人材像を明確化、学生・保護者に認知させることによって、本校ならではの特色を活かしての将来の構想を発展させた	紙媒体での周知を基にしているが、SNS・HP などでもアピールを強化し、学生・保護者に向けた育成人材像や将来構想等の情報の発信に取り組んでいく
	・ 専門教科に重点を置き、併せて一般教科・特別教育活動をして専門業界の即戦力となる人材の育成に努めているか	専門教科に重点を置いた教育の他、卒業生や企業、在校生からのアンケートを基に、専門教科や一般教科の中での偏りや弱点を分析し、適宜修正を行った。また、即戦力となる人材とはどういった人物であるのかを分析し、求められている知識や技術の認知・解析を行い、改善と向上を図った	即戦力となる人材のニーズをくみ取り、専門教科のみならず、一般教科や特別教育活動などを通し、専門知識・技術とともにコミュニケーション能力の向上を図る。カリキュラム等に於いても偏りや弱点を適確に見極め、適宜修正を重ねる
(2) 学校運営	・ 校務分掌役割の確認と責任の遂行はなされているか	各教員での校務分掌の役割の分担はなされていたが、遂行にはやや停滞・遅延が見られた。	改善の方法として、「分掌の重複を減らす」「校務の効率化」が挙げられた。教員間の連絡を密にし、効率化を図り、責任ある仕事をする。それぞれの役割を見直し、分掌の分散を図る。
	・ 事業計画を綿密に立て、共通理解で運営されているか	事業計画を適時確認し、随時年間計画等での変更点などを修正しながら、実行に努めた。事業計画と年間スケジュールを綿密に立てた上で、突発的なイベント依頼等も計画内に組み込み、共通理解と相互協力のもと進行がなされた	イベント依頼等の増加に伴い、綿密に練られた年間スケジュールが大幅に変更にならないよう、慎重に年間計画に組み込んでいく。その旨を共通理解とし、相互協力・共同運営を行っていく
	・ 運営組織や意思決定機能は職員会議等で諮られて納得して十分機能しているか	運営組織内での課題や対策を職員会議等で認知し、意思決定機能においても意見を募り、各自の納得を得たうえで機能させた。また、そういった機能の強化と円滑な実行に努めた	課題・対策ともに職員会議で広く互いに認知した上で、意思決定を行っていく。また、煩雑な問題等は適時職員会議を開催し、問題の延長・意思決定の遅延を防ぐ

	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	人事・給与規定は整備され、適切に行われている。各方面からの意見を参考にしながら、より良い方向への整備を目指し、十全させるべく努力した	整備された人事・給与規定に伴い、適切な運営を行う努力をする。各方面からの意見を柔軟に取り入れ、時流に則った職場環境の整備に努める
	・ 業界や地域社会と密接な信頼関係が確立されているか	地域の産業発展のため、協力できることは積極的に取り組み、ファッション業界のみならず地域社会とも密接な信頼関係の育成に取り組んだ	確立されている信頼関係の更なる強固を図りつつ、新たな企業・業界の開拓に取り組み、新規の信頼関係の確立を試みる
	・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	HP・SNS・情報誌などでの発信を行い、適時確認を経て適正な情報公開に努めた。また、新しくInstagramのアカウントを開設し、若年層に向けての情報発信を試みた	時勢に於ける流行を踏まえ、適時適切なツールを用いて情報公開を行っていく。情報公開を行っているツールの周知にも取り組み、若年層への認知度の向上を図る
(3)教育活動	・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	より教育理念や創学の精神に沿った教育を目指すべく、カリキュラム進行や目標設定・実現を行い、教育課程編成委員会を通してカリキュラムの内容策定が行われ、それに沿った授業がなされた	教育理念等既に整えられている制度に沿って、教育課程の編成と実施方針を定め、カリキュラムの策定を行う。教育課程編成委員会を実施し、適宜カリキュラムの見直しと向上を驗する
	・ 業界のニーズに十分応えるレベルに到達する教育と時間の配分が明確にされているか	より適正な教育内容・時間配分を目指すため、インターンシップや就職において関係のある地元の優良企業から、学生に対しての評価・情報を集め、本校における教育のレベルや偏りを汲み取った	より広範な企業・業界からニーズの汲み取りを図り、本校の教育のレベル・偏りに対する意見交換と吟味を重ねる。得られた意見や知見を真摯に受け止め、ニーズに応えられるレベルに達する時間配分と授業を行っていく
	・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されキャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	キャリア教育・実践的な職業教育において何が求められているかを分析し、教育方法の工夫、また新しい授業形態の取り入れなどを試みた。また適時カリキュラムの確認と修正を重ねながら、授業の遂行を行った	適時カリキュラムの確認と修正を重ね、授業を遂行する。また取り入れた新しい授業形態の効果を十二分に検討し、更なる教育方法の工夫を試み、実践的な職業教育の向上に取り組んでいく
	・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	学生の能力・適性を鑑み、全体的なカリキュラムの見直しを適宜行い、業界から求められる人材育成に向けてのカリキュラムの検討・作成に取り組んだ。評価委員から、コミュニケーション能力を一番重要視すべきとの意見があったため、コミュニケーション能力の向上を図る。	カリキュラムの向上・強化のため、関連分野の企業・関係施設等から広く意見を募る。集めた意見の検討・受容に取り組み、各学科主任と専任・兼任教員等で適宜カリキュラムの見直しと遂行を行う。コミュニケーションに関しては、クラス内や学内などでの意見交換等を行い、問題提起、課題解決などの能力を育成する。
	・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携事業）は体系的に位置づけられているか	インターンシップ先、就職先など、多岐に渡る企業と連携し、実践的な職業教育の確認・適正化を検した。関連分野において即戦力となる実践的な職業教育とは何か、関連企業等との話し合いを経て、教職員間での改善と理解を深めた	実践的な職業教育とは何か、今一度教職員間で理解を確認した後、カリキュラムや参加イベント、年間スケジュールに反映させ、体系的な位置づけの強化・適正化を図る
	・ 職業教育に対する外部関係者	就職先の企業や連携した企業などから広く意見を募り、集	国や県の指導の他に関連企業や個人からも引き続き評価・意

	からの評価を取り入れているか	めた意見を分析し、求められている人物・技術・技能などを解析した上で、授業内容に反映させた	見を求める。職業教育に於いて求められる役割・ニーズを解析し、柔軟に受容し、教育に反映させる
	・授業評価・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	内規を基準として、授業、成績、単位の評価や認定は明確に定められている。進級・卒業に関しても同様である。規定のレベルまで到達しない学生に対して、どのように対処を試みレベルの向上・発展につなげていくか、教職員間で適時話し合いを経ながら、平均レベルの上昇に務めた	明確に定められた内規を基にする授業、成績、単位の評価や認定、進級判定、卒業認定を行う。既定のレベルに到達しない学生への対処を引き続き教職員間で詮議し、レベルの引き上げと授業の工夫に取り組む
	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	学生個人の得意な分野、レベルに合わせた資格取得を推奨し、資格取得率の上進を目指した。指導体制に関しても適時、学生から求められる知識・技術・技能の広範な研究を行い、カリキュラム内に反映させた	学生個人の成績、適性、レベルを担当職員が吟味し、取得を推奨し、高い資格取得率を驗する。同時に指導体制の見直しを行い、学生をつまずきやすい箇所の発見と検討、指導の強化を図る
	・人材育成目標達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	人材育成目標達成に対する現状での達成程度、授業内容が適切であるかどうか、教員間で常に確認を重ねた。しかし適時カリキュラムが見直されるのに加え、世間の時流やニーズの変化などもあり、授業内容が多様化した。そのため既存の教職員で補えない部分なども見受けられた	教職員の備える要件の範囲を見定め、教職員研修を行い、適宜教職員の知識・技量の向上を図る。
	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	最先端の知識・技能等と、今現在教員が有する知識・技能等がどの程度差異があるかの認知を驗した。更なる知識や技能の発展を試み、研修に関しても広い視野で現状を鑑み、不足と思われる部分の強化・上達に取り組んだ	教員が有している知識・技能等が最先端のものとなるよう、研修等の計画を綿密に立て、新規の知識・技術の吸収の場を設ける。また資質向上のため、教員間で相互の相談や指摘、改善を図り、現状の適視と向上心の育成を試みる
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか	就職率の低下・停滞などがあった。就職率に関して、学生本人の自己分析の弱さ、就活への取組姿勢も挙げられるが、教職員からの働き掛けや適時のヒアリング、サポートなども強化を見込む部分がある。学生自身の適性や希望を第一に、学生の就職先を重視する姿勢を汲みながら、新規の就職先の開拓なども企図していく。	就職率向上のため、学生の自己分析プログラムの導入、就活指導、適時ヒアリングや学生のニーズに合わせたサポートを行える体制を整えていく。その他、新規の就職先の開拓などにも積極的に取り組んでいく。
	・資格取得率の向上が図られているか	取得できる資格に関して情報の開示が十分に行われていたが、資格取得に対する必要性の周知が弱く、資格取得率の向上に関しては一部伸び悩んだ部分もあった。	今後の対策としては、学生一人一人に対する面談を適宜実施し、本人のキャリア計画、適性、能力、家庭や心身に於ける状況把握に努める。情報収集や教職員間の共有、相談などを経て各自に対する対応を考え、実行していくことにより、就職率の向上を試みる。長期就業を前提に親身に取り組む。
	・退学率の低減が図られているか	退学率低減の停滞に関しては、個々の学生の家庭環境や経済状況、本人の心身的理由などで退学もやむを得ない場合があった。それ以前に個人面談等によって状況の把握・	個々の学生の家庭環境や経済状況、本人の心身的理由からの退学を除き、学習意欲の低下や保護者の不理解から来る退学が出ないように、個人・保護者面談等で早期に状況把握と対策

		解析・対処が行われていれば更なる軽減の可能性もあったのではないかと思議する	を試みていく
	・ 卒業生・在校生の社会的な活躍や卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	在校生や卒業生の活躍を広く周知し、在校生のキャリア形成の補助とした。在校生のキャリア形成の構想を汲み取り、理想とするキャリア形成のために必要な知識・技能の修得を目指し、教育活動の内容を適宜改善し増進に励んだ	広範な範囲で卒業生の活躍を調べ、在校生に周知することで、在校生のキャリア形成の一助と道筋とする。そこから在校生のキャリア形成の構想を汲み取り、そのために必要な知識・技能の他、情報収集などを指導し、教育活動の上進を試みる
(5) 学生支援	・ 進路・就職に関する指導・支援は行われているか	担任教員と進路指導担当教員の連携を深め、学生本人との面談や、直接的な支援体制の増強を適宜行った。だが就職活動を控える学生に対して、進路相談の回数や求人情報の公開など、やや改善を見込める部分があった。	早い時期から進路相談を行い、情報収集ツールの活用を図る。就職して十分実力を発揮できるよう学生の積極的な学修意欲の向上に努め、サポート体制の上進を試みる。
	・ 学生相談に関する体制は整備されているか	現状の維持を講じつつ、より学生が相談しやすく、相談内容に対して適切な対応策を画した。安心・信頼して相談できる環境づくり、常日頃からの声掛けなどで相談しやすい雰囲気づくりを策した	学生が相談しやすい環境づくりのため、常日頃から担当教員のみならず教職員全員が学生に目を配り、早期に声掛けすることで問題の発見や悩みの相談につなげていくと同時に、本人自ら自分の考えや不安面について相談できる態度を育成する
	・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	学生一人一人の家庭状況のヒアリングを行い、保護者との相談なども十二分に重ねながら、個人に即した支援体制を案出した。必要に応じた制度の提案と解りやすい説明を行い、利用を促した	それぞれの家庭環境を学生や保護者との面談、提出書類などから汲み取り、必要に応じた支援体制の案出、申請の提案などを行っていく。また理解しやすい説明を試みることで利用と相談の土壌を整える
	・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	今現在行っている活動のみに終止せず、地域と連携したイベントの参加により、広範な活動が出来る土壌の再確認と育成を験した。産官学の連携強化を試み、更なる課外活動への挑戦意欲と参加意義の認識を促した。学生が自ら企画するイベントや、プロデュース力を身につけることを今後企図していく	学生の積極性、挑戦意欲の上進を図るため、活動を比較・検討し、学生に即した活動の提案と支援を行っていく。また学生から得られた意見・要望などを集め、支援体制の更なる向上に努める
	・ 保護者会と適切に連携しているか	保護者会組織が充実している。必要に応じて担任教員が保護者と相談を重ね、組織の更なる充実を図るのみならず、校内のイベントや学生の学校生活における保護者の支援を呼びかけた	保護者会組織の更なる充実と向上を図り、子女の学習が将来の幸せな人生につながるよう協力していただくとともに、校内のイベント・学校生活における支援を呼びかけ、充実度の向上に取り組む。保護者との面談、相談なども適宜行い、学校と保護者との連携強化を験する
	・ 卒業生へのニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	同窓会組織が確立しているため、各卒業生との密な連絡や情報交換を行い、卒業生の立場からの学校に対する要望や意見などの汲み取りを量った。それらのニーズに応えるた	引き続き卒業生との連絡、情報交換を行っていく。卒業生が社会に出てからの経験や、就職先の企業等からも広く意見を募り、ニーズの適視とニーズに応じた教育環境の適正化を図

		め、教育環境の整備を策した	る
	・ 中学・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	依頼に応じて、中学生への職場体験の受け入れ、高校生へのキャリア教育の講座等を行った。広範囲かつ多数の学校との連携が図られた。中学高校家庭科教員への研修会を毎夏実施している他、被服検定対策等の相談なども受けている	中学・高校・高等専修学校等とも今まで以上の連携を図る。また、今年度も各校からの講座や依頼などに応じ、多数の学校との連携を試み、キャリア教育や職業教育の助成を行っていく
(6)教育環境	・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	定期的かつ適時適正なメンテナンスを行い、必要性に応じた設備・備品の導入等でより良い環境づくりに取り組んだ	救護体制の見直しを図り、十全な状態に近づけるとともに、教職員間での情報共有や、救護訓練や研修の受講を通し、知識の増強と対応の応変を試みる
	・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	実習施設やインターンシップの受け入れ企業との連携を深め、学生自身がより広い見識を得られる環境づくりに努めた。また、連携企業の開拓などを積極的に行うことによって、更なる充実を図った。海外研修は学生の経済的負担が大きいため、パリ在住の本校特任講師を学校へ招聘し、海外事情についての講話を行った。	新規のインターンシップ企業の開拓を行い、学生の広い見識の修得とキャリア構想の一助とする。連携企業や実習施設等も積極的に授業に活用していく。視野を広めるため、海外研修の機会を作りたい。
	・ 防災に対する体制は整備されているか	毎年防災訓練を実施し、防災意識の向上・被災した場合の対処法の認知を図った。防災訓練の実施と防災意識の向上により、学生一人一人が緊急の事態にも対処できるよう指導を強化した。非常備品・避難経路の点検もこまめに行っている	防災訓練を実施し、防災意識の向上と対処法の認知を試みる。学生がいついかなるときも緊急の事態・場面に対処できるよう、指導を強化し、学内の非常備品や避難経路の点検、学生への認知も行っていく。3.11 東日本大震災を経験しているため、安全安心に対しては特に配慮しなければならない。
(7)学生の受入れ募集	・ 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が積極的に行われているか	学校訪問、HP 等での情報発信、また時勢に合わせた方法・手段での情報提供の研究を行った。広範囲への周知に取り組み、学校訪問等によってオープンスクールの開催や学生の募集要項の告知を行った。だが、より情報発信の増強と働きかけが必要と思われる	学校訪問に於いては配布書類、説明書類などの見直しを図り、若年層により受容されやすい内容への改善を図る。HP や SNS での情報提供・発信も効果的であるとの指摘があったため、オープンスクールの開催や学生募集の告知を中心に、学校情報の発信を増強していく必要がある。
	・ 学生募集活動は、適正に行われているか	募集活動が適正に行われ、資料請求件数、オープンスクール等への参加者数がわずかであるが増加したことを評価する。進学を決める後押しや効果的なアプローチなど改善の余地があると思われる。	インスタグラムやツイッターなど、若年層が頻繁に使用するツールを更に活用し、入学生増加の一助とする。写真や投稿など魅力・内容の発信に努める。また多くの機会に本校の教育活動について周知を図り、きめ細やかに活動する。
	・ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報や教育成果は正確に伝えられているか	学生募集活動において、各種資格や検定の合格率、就職率、教育成果など、各種資料を用意し、学生募集活動に紐づけて活かしていけるよう改善を企図した。どういった内容の資格や検定なのか、また就職先がどういった企業であるか、募集の対象である生徒やその保護者、進路指導担当教	資格取得率や就職状況、教育成果などについて各種資料を用意し、学生募集活動の助けとする。担当教員の資格内容や教育成果への理解の深度を増し、適切な説明の元、生徒や保護者、進路指導担当教員に伝えることで、入学生の増加を驗する

		員などに解りやすく正確に伝えられるよう、資料や説明等の見直しを行った	
	・ 学納金は妥当なものとなっているか	関係部門で検討したうえで理事会において諮り、学納金の金額を決定する。学費が妥当なものとなるよう十二分に熟思し、学納金の金額を決定しているため、適正かつ妥当なものとなっている	関係部門で検討し、理事会によって諮られ、学納金の金額が決定される。時勢や時流などを鑑み、適正、妥当であるか、見直しと熟考を重ねていく
(8) 財務	・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	安定していると言えるが、中長期的に考えたうえでは取り組むべき課題も見受けられた。消費節約に意を払い、入学生の増加を図り、収入の増加に努めた	安定に慢心することなく、消費節約、入学生の増加、収入の増加を試みる。課題対策を忠実に行うことで、財務基盤の更なる安定化を目指す
	・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	理事会・評議員会においてチェックを行っており、有効かつ妥当なものとなっている	努力目標を定め、努めていく
	・ 財務について会計監査が適正に行われているか	財務について会計監査が適正に行われている	努力目標を定め、努めていく
	・ 財務情報公開の体制整備はできているか	財務の情報公開体制整備はできている	努力目標を定め、努めていく
(9) 法令等の遵守	・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	監督省庁の許認可を受け、適正かつ適切に学校運営がなされている	努力目標を定め、努めていく
	・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	教職員への啓発を高める取り組みが行われており、個人情報に関する取扱いの管理体制は整備されている	様々な個人情報管理の強化徹底を行う
	・ 自己評価の実施と問題点の改善を行い、自己評価結果を公開しているか	自己評価を実施し、学校関係者等の評価を経て問題点の改善を行い、公開している	今後第三者評価機構による評価にも取り組む必要がある
(10) 社会貢献・地域貢献	・ 学友会のボランティア活動を奨励、支援しているか	地域、諸団体と連携した活動を積極的に行うことにより、学生のボランティア参加の支援を行った。ボランティア活動も幅を広げ、広範かつ地域と密接した社会貢献を試みた	地域と密接に関係したボランティア活動を行い、学生のボランティア参加の意識付けを行っていく。活動も昨年度より広範なものとし、より社会貢献に取り組んでいく
	・ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)を積極的に実施しているか	地域に対する公開講座を開催し、教育内容の周知に努めた。地域からの強い信頼により、参加を依頼された時の責任ある対応を評価する。	今後の改善点としては、カリキュラムの充足に伴う、イベント参加に関する早めの日程の調整が挙げられた
(11) 国際交流	・ 留学生の受入れ・派遣に積極的に取り組んでいるか	留学生の募集活動に努めているが、震災後受入れがなされていない状況であるため、積極的に受け入れる働きをしなければならない。	留学生から求められる環境を理解し、広範的な募集活動に努めることで、留学生の招致を試みる。学修に専念できる準備が整っている留学生を迎え入れたい。